

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

和泉市長 辻 宏康

市町村名 (市町村コード)	和泉市 (27219)
地域名 (地域内農業集落名)	坪井団地地区 (坪井町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年9月12日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<p>現状: 本地区は、農業者の平均年齢68.9歳と市内平均を下回る。担い手が多い地区であるため、現状では遊休地は少ない。高低差が大きく出荷の時期調整がしやすい。</p> <p>課題:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣対策 イノシシについては侵入防止の障害として旧道に門扉の設置等を行い、通行後の閉門を徹底することで物理的な遮断を行う。また、忌避剤、電気柵の設置を検討する。既存ワイヤーメッシュの前に目隠し(防草シートや寒冷紗)を設置することによって進入を未然防止する。(ワイヤーメッシュは管理徹底する。) ・アライグマについては忌避剤の散布、電気柵の設置を検討。(国事業である鳥獣被害防止総合支援事業の導入も検討) ・カラスについては防鳥ネットの設置検討。シカについては現時点で目撃情報があるわけではないが、近隣他市において被害が迫っていることから対策に向けて意識を高める。 ・道が狭い(資材の運搬困難、通行危険) 箕輪すべり谷線の一部にグレーチングの設置や安全対策を検討する。 ・日陰になっている 山主や森林組合による協力の元、枝打ちや間伐によって日当たりの確保を目指す。 ・地質の改善 石礫に対する土質改良として国・府・市の補助事業の導入を検討する。また、傾斜畑の造成(フラット化)を実施することにより、新規就農者の呼び込みや既存担い手の規模拡大に寄与する。 ・トイレがない 仮設トイレの設置を検討。(農地法とその他法令の運用で可能なものを今後検討)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<ul style="list-style-type: none"> ・涼しさを活かした農産物の栽培(アスパラガス、軟弱野菜など) 本地区は標高が高いことから冷涼な気候に適した農産物を探求し導入を検討する。 ・和泉市にはない農産物の栽培に挑戦 目新しい地場農産物を栽培することにより、本団地の新しい目玉作物とし、そして引き合い強化と販売価格の優位性を維持する。 ・学校と連携した事業展開 近隣に小中一貫校が開校することから、農業への関心と理解度向上を図るため学校と連携した農作業体験を実施する。
--

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	5.69 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	5.69 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	0 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

坪井農業団地

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針

地域での話し合いにより、農業委員をはじめ関係機関の調整の元、貸出意向の農地所有者に対する働きかけを行い、担い手への農地の集積を推進する。

(2) 農地中間管理機構の活用方針

担い手への集約や、新規就農者・企業の誘致・転貸を推進する。

(3) 基盤整備事業への取組方針

—

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針

地域内外から、多様な経営体を募り、関係機関と連携しながら担い手として育成していく。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

個々の状況に応じ、農作業委託を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

①イノシシ等の被害が拡大しないよう追加で進入防止策を検討。

⑩涼しい気候に適した農産物の栽培。